

学校評議員会の実施報告書

岐阜県立関特別支援学校

校長 岩塚 政司

学校住所 関市桐ヶ丘一丁目 2 番地

電話 (0575) 22-4238

- 1 会議の名称 岐阜県立関特別支援学校 学校評議員会
- 2 会議の構成 【 学校評議員 】
- | | |
|--------|-----------------------------------|
| 澤井 基光 | 関市社会福祉協議会会長 |
| 沼田 明仁 | 四季ノ台自治会長 |
| 岡田 泰子 | 中部学院大学短期大学部准教授 |
| 大野 美奈子 | 社会福祉法人平成会レインボーハートフルサービス管理責任者 |
| 中島 貴弘 | Man to Man Animo 株式会社プロジェクトマネージャー |
- 【学校関係者評価委員】
- 日比野 恵美 P T A 会長
- 【 学校職員 】
- | | | | |
|-------|------|-------|-------|
| 岩塚 政司 | 校長 | 熊崎 律弥 | 小学部主事 |
| 福富 茂美 | 教頭 | 杉本 雅晴 | 中学部主事 |
| 下川 正利 | 事務部長 | 乙津真由美 | 高等部主事 |
| | | 井原 誠 | 教務主任 |
- 3 会議の目的 学校運営について地域住民や学識経験者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた活力ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成 2 8 年 6 月 2 7 日 (月) 1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0
岐阜県立関特別支援学校 小会議室
会の内容 (主な議題等)
- (1) 授業参観
 - (2) 校長あいさつ (学校評議員委嘱)
 - (3) 出席者自己紹介
 - (4) 平成 2 8 年度の教育計画及び各学部の取組について
 - (5) 高等部作業学習製品の販売価格について
 - (6) 授業参観の感想や関特別支援学校についてのご意見等
 - (7) その他

5 会議の概要

校長あいさつ

関市社会福祉協議会の澤井様は昨年度より、他の 4 名の方には本年度より評議員をお願いすることになりました。また、P T A 会長の日比野様には学校関係者評価委員として、第 1 回から参加していただくことになりました。どうかよろしくお願ひします。

障害者差別禁止法が施行され、障がい者をめぐる状況が大きく変わってきています。本年度、羽島特別支援学校、岐阜希望が丘特別支援学校高等部が新たに設立され、高等学校に発達障がいの支援員が入るようになりました。また、来年度には岐阜清流高等特別支援学校が設立されるなど整備が進んでいます。

本校も、昨年度から病弱者を受け入れ、この先、知的障がい者を受け入れるなど大きな変化を迎えています。皆様の忌憚のないご意見をお聞かせいただき、学校改善に役立てたいと考えています。

テーマ1 平成28年度の教育計画及び各学部の取組について

(1) 学校の教育目標、学校経営の方針について

- ・当校にあっては児童生徒数の減少が大きな課題である。今後、中濃特別支援学校と2校で地域総合化を図るよう進めており、平成30年度より高等部に軽度知的障がいの生徒を受け入れるために準備している。
- ・今年度学校として大事にしたい点が3つある。1つ目は、明るく、安心・安全な学校であるために、中濃特別支援学校との連携、防災意識の向上と地域と連携した警報等への迅速で確実な対応、保護者等への積極的な情報提供等を行っていく。2つ目は、児童生徒が意欲的に学ぶために、家庭と連携したICT機器の積極的な活用、幅広い障がいに対応できる指導力の向上等を図る。3つ目は、社会参加・自立のために、居住地校交流の推進と学校間交流の充実、進路に関わる情報提供の工夫、地域の教育資源の活用等を行う。
- ・本年度の重点としては、一人一人の創意工夫ある実践、全校職員の協力体制による生き生きとした実践、積極的な情報発信による保護者や地域と連携した実践、中濃特別支援学校分教室との発展的連携と専門学科の準備に向けた確実な取組の4点である。

具体的な実践としては、関係職員の連携によるきめ細かな支援づくり、プロジェクト委員会による学校課題に向けた関係分掌等との連携・提案の実現、交流及び共同学習の充実、学校美術館や地域作品展、学校だより等を通じた地域の理解と啓発、専門学科設置に向けた具体像の明確化等があげられる。

(2) 自校評価・学校関係者評価について

①学習活動・家庭や地域等との連携

- ・地域の学校や自治会と連携した取組の工夫
- ・合理的配慮を個別の教育支援計画・指導計画に反映させる手順や方法の検討
- ・総合化に向けての学校改変への検討

②安心・安全な学校生活

- ・児童生徒の障がいの特性をチームで共有し、一人の児童生徒をみんなで支援していく体制をつくる。
- ・様々な緊急事態や非常事態を想定し、高い危機意識をもって取り組む。

③キャリア教育

- ・個別の教育支援計画で情報を整理し、保護者や関係機関と連携を図りながら進める。
- ・社会参加・職業自立を図るための方策、一人一人に応じた進路指導の在り方等保護者と連携を深める。
- ・総合化に向けて、病弱生徒の受け入れ後の進路指導の在り方を検討する。 他

(3) 各部主事による小学部、中学部、高等部の児童生徒の状況、指導の目標、行事等について

<小学部>

- ・主体性を引き出すための教材教具、環境設定、教師の働き掛けの工夫、社会性を育てる学習集団、交流推進、保護者関係機関との連携など

<中学部>

- ・社会自立に向けたキャリア学習、集団に配慮した合同での授業、個々に応じたICTの活用、集団で個々の力を生かす授業など

<高等部>

- ・特色ある取組として、検定取得に向けた取組、関商工高等学校との交流教育及び共同学習、進路学習や進路に向けた取組など

<寄宿舎>

- ・生徒が運営する組織（舎生会）、外出活動、日本の文化や季節行事を大切にしたい取組、自立に向けた取組など

テーマ2 高等部作業学習製品の販売価格について

- 意見1 利潤を追求しないということなら妥当だと思う。
- 意見2 一般的に値段が安い。授産所製品だから安いというのを払拭したいと思っている。障がい者が作るから安いというのではなく、その物に見合った価値を付けられればよいと思う。
- 質問3 価格というのは目的によって変わってくると思う。自分たちが作った物が売れる喜びを感じることを優先するのなら、この価格は妥当だと思う。

テーマ3 関特別支援学校についての意見等

- 意見1 一人一人の命を預かることの尊さを感じた。心も育みながら、日々の営みをどうしていくのか、コミュニケーションの理解から児童生徒をどう見ていくのかが大切になると思う。困難であるが、やりがいのあることだと思う。
 - 意見2 今回、校内を参観させていただき、施設設備一つ一つが、子どもたちの生活から考えられていることが分かった。身近なところにこんな素晴らしい環境があったのかと感動した。一人の生徒に一人の教師、または複数の教師が対応していることもあり、一人一人のために尽くす尊い仕事であると思った。老人の介護施設に係ったことがあるが、その施設とも違って心が表面に出ている印象を受けた。地域の誇りといえる。
 - 意見3 障がいの程度に応じて教育が考えられていることなど深く知ることができた。福祉サービス事業所の利用者もそうだが、（身体に障がいのある人は）行動範囲が狭くなる。校外学習や交流学习を行うなどいろいろな体験をすることで子どもたちの視野を広げてほしい。
 - 意見4 先生たちはたいへんな仕事であると感じた。たいへんな仕事であるため、18時に施設する日を設けるなどの対応が大切になると思った。何か役に立てることはないかと考えたが、ICTということに関しては通ずるところがある。関特別支援学校のホームページと一緒に充実させることなどできると思う。また、キャリア教育についても、私の会社にはこの学校の先輩たちも働いているため、中学部や高等部の生徒にいろいろな仕事があるんだと知っていただく機会になると思う。これから役に立てることを考えていきたい。
 - 質問1 評議員2年目ということではいろいろな思いがある。寄宿舎に入っている生徒は教育課程の類型でいうとどの生徒か。
 - 学 校 教育課程A類型からC類型までの生徒である。ある程度身辺自立ができている生徒である。
 - 質問2 マンツーマンということで適切な指導ができる反面、弊害もあると思う。どのような工夫をしているのか。
 - 学 校 教育相談を行うなどしっかり話を聞く機会を設けているほか、グループ編成を工夫したり、いろいろな人と関わる機会を設けたりしている。
 - 意見5 今回参観していただいた方には、学校のことや子どもたちのことを理解していただけたが、もっと地域の人たちに理解していただけるように情報発信していけるとよい。
- 6 会議のまとめ（校長より）
- いろいろな意見をいただきありがとうございました。意見をもとに改善していきたいと考えています。本日はありがとうございました。